

令和3年度 職員自己評価シート

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)) ※評価の平均値は(少数点第2以下四捨五入)

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計(最大値35) 24.3
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.0
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.5
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	3.3
4	幼児の主體的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.5
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	3.6
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.7
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.7
2 教育・保育の質の向上		評価点の計(最大値50) 33.9
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.8
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	3.6
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.9
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	3.0
5	幼児の自発的な活動を促がす環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.3
6	保幼こ小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	2.7
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	2.6
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.8
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	4.0
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.2
3 子育ての支援の充実		評価点の計(最大値35) 24.4
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	3.4
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.6
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	2.1
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.5
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ確である。	4.0
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.8
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	4.0
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計(最大値120) 82.6
<p>【保育教諭の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性を生かした活動が出来るよう、掲示物や遊びの環境、事前準備をもっとしていきたい。 保育教諭同士で連携を取れるようになってきた。引き続き特別な支援を要する子どもに対して丁寧な対応をしていきたい。 就学に向けて、小学校との連携やアプローチカリキュラム等を積極的に活用していきたい。 園全体チームとして細かにPDCAサイクルが実践され、全体周知も徹底されている為、どの職員も同じ対応が出来ていると思う。 どの項目も充実・向上を目指して保育教諭が努力を続けている。 <p>【課題設問1】 保幼こ小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。</p> <p>連絡会の実施や研修等も制限され、なかなか機会に恵まれない状況であった。互いの保育・教育内容等についても話す機会が少なくなっていたものの、校内研究、園内研究の授業参観等を通して理解に努める事が出来た。保育教諭への周知、理解にまで及ばなかった事がこの結果となっていると考えられる為、周知、理解に努めていきたい。</p> <p>【課題設問2】 小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。</p> <p>接続期のカリキュラムを活用した実践に対しての意識が低くなってしまっていた。感染症の影響もあり、公私連携型こども園としての役割は理解しているものの、実践には結びつく事が出来ていなかった。様々な工夫をして、今後の連携した取り組みに努めていきたい。</p> <p>【課題設問3】 学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。</p> <p>設問1,2と同様に、感染症の影響により学級懇談会や保育参観等の場を設ける事が出来なかった。しかし、PTAとしての活動に関しては時期や内容等を工夫する事で実施出来る事もあった。保護者同士の繋がりは子育て環境の充実や、保護者のケアに繋がると共に、子どもたちにとってより良い保育を準備するのに大切な事だと考える。その為、学級懇談会や保育参観等だけが出来る事ではないと、職員にも理解を深めて更に取り組んでいきたい。</p>		

令和3年度 自己評価シート

(こども園長・主幹保育教諭用)

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)) ※評価の平均値は(少数点第2以下四捨五入)

※評価の計、合計の値は、園長、主幹保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく園運営の充実		評価点の計(最大値95)
教育課程		21.2
1	園の教育方針を周知し、教育目標の達成に向けて取り組んでいる。	3.5
2	園の教育保育目標を達成するための、教育課程の編成、実施、評価、改善等、一連のカリキュラム・マネジメントを適切に実施している。	3.5
3	教育課程に基づいた指導計画(期・月・週)の立案が適切になされ、保育に生かされている。	4.2
4	幼児の安全と育ちを保障する職員体制が構築されている。	5.0
5	自己評価・保護者アンケート・関係者評価等を実施し、園運営の改善を図っている。	5.0
安全		18.4
1	危機管理マニュアルに基づいて、幼児の安全管理を行っている。	5.0
2	緊急時に適切で迅速な対応ができるよう役割分担が明確になっている。	4.7
3	毎月の安全点検や、危険箇所の報告や処理等を適切におこなっている。	4.2
4	アレルギーに対する意思を持ち配慮している。	4.5
連携		11.7
1	園の教育内容が小学校以降の学習の基盤の育成につながることを理解し、組織的に実践している。	3.5
2	小学校の教育内容について交流会や連絡会、研修会を通して連携を図っている。	1.7
3	近隣の保・幼・こ園等と小学校との連絡会を実施している。	3.0
4	地域の人材や施設を活用し、保育に生かしている。	3.5
特別支援教育		17.2
1	全職員で幼児の発達の特性を理解し、適切な指導を行っている。	4.2
2	園内支援委員会を計画的に開催し、適切な指導を行っている。	4.5
3	個別の教育支援計画や個別の指導計画については、内容の確認や教諭への指導助言を行っている。	4.0
4	特別支援教育コーディネーターを中心に、保護者や関係機関と連携を図っている。	4.5
庶務管理		8.9
1	各種文書や情報管理の重要性を理解し、情報の漏洩・データ流出等がないよう適正に管理している。	4.2
2	各種文書やホームページ等で、園の情報を定期的に発信している。	4.7
2 職員の資質の向上		評価点の計(最大値30)
		24.7
1	職員間で一人ひとりの良さが発揮できるようにしている。	4.0
2	保育参観を含めた園内研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っている。	4.2
3	様々な研修会へ職員が積極的に参加できるよう、勤務時間等を工夫している。	4.5
4	研修会参加後は、他の職員へ伝達講習を行い、全体的な質の向上を図っている。	4.5
5	新しい教育と保育について情報を積極的に収集し、職員へ周知・還元している。	3.5
6	職員間で一人ひとりの保育課題に対して親身に話を聞き、その改善方法をアドバイスしたり、メンタル面の配慮を行っている。	4.0
3 子育て支援の充実		評価点の計(最大値35)
		27.1
1	保護者に対して園の教育・保育目標を説明し、理解を得ている。	3.5
2	保護者・地域から寄せられた意見や要望は真摯に受け止め、園全体で共有しながら工夫・改善し、対応している。	4.5
3	発達に課題がある幼児については、保護者の気持ちにより添い、適切な支援につながるよう丁寧に対応している。	4.7
4	学力向上推進の取り組みの説明会や子育て講演会など、保護者が子育てについてのアドバイスが得られるような機会を提供している。	3.7
5	保護者が子育てに関する情報を得たり、関心が持てるよう、ポスター掲示やチラシ配布、本の紹介などを積極的に行っている。	4.0
6	家庭支援が必要と思われる場合、専門機関や福祉機関と連携しながら、家庭支援につなげている。	4.7
7	学級懇談会や保育参加等において、保護者同士がつながるコミュニティの場を設けている。	2.0

4 行政への参画		評価点の計（最大値10）	6.9
1	浦添市の計画に基づき、認定こども園の充実した運営を行なっている。		3.2
2	国の制度改正・主要施策等をふまえた体制・環境づくりを行っている。		3.7
		評価点の合計（最大値170）	136.1
<p>【取組状況に関するコメント】</p> <p>【園長・主幹保育教諭等の意見】</p> <p>・保育参観や子育て支援等で保護者同士のコミュニティの場を設けたが、コロナ禍で中止や延期が余儀なくされた。コロナ禍でも保護者に園の様子を見せられる機会や保護者同士の話し合いの場を設けられるよう検討していきたい。</p> <p>【課題設問1】 <u>小学校の教育内容について交流会や連絡会、研修会を通して連携を図っている。</u></p> <p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により交流会や連絡会等の機会に恵まれなかった。どのように実施するのかまた、コロナ禍での実施方法を小学校と連携して検討していきたい。</p> <p>【課題設問2】 <u>学級懇談会や保育参観において、保護者同士がつながるコミュニティの場を設けている。</u></p> <p>感染症の影響により学級懇談会や保育参観等の場を設ける事が出来なかった。しかし、PTAとしての活動に関しては時期や内容等を工夫する事で実施出来る事もあった。保護者同士の繋がりには子育て環境の充実や、保護者のケアに繋がると共に、子どもたちにとってより良い保育を準備するのに大切な事だと考える。その為、学級懇談会や保育参観等だけが出来る事ではないと、職員にも理解を深めて更に取り組んでいきたい。</p>			